



通算第34号

1964~65-1-27

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第32回例会

本日のプログラム

- (1) スピーチ 市川会員
- (2) 経営相談(スライド) 大田会員

- ◆ 司会 新会長 ◆ 斉唱 '手に手をつないで'
- ◆ ゲスト 矢野 康氏(渡島支庁長)
- ◆ ビジター 柿内亮君 西村嘉倫君 田中榮吉君 谷内田茂君 中林啓次君
田中昌太郎君 佐藤 之助君 藤井太吉君(以上根室R.C.)
梅津福次郎君他6名(函館R.C.)
薬袋省吾君他5名(函館東R.C.)

◆ 会長挨拶

- (1) 本日は根室より多数のビジターをお迎えしました。遠路ようこそお出で下さいました。往年の函館と根室が密接な関係があつたことが思い出されます。
- (2) ガバナース・レターを忘れて来ましたので次回に報告します。3月のガバナー公式訪問と、5月のチャーター・ナイトについてです。
- (3) 昨日東クラブにマーク・アップしましたが、太秦会長から北クラブの出席が良くないので頑張つていただく様御注意を受けました。

◆ ニコニコ箱

- (1) 今宮信雄会員が日本セメントKK取締役就任されおめでとございます。
- (2) 新会長、船矢幹事両君がガバナース・レターを忘れて来ましたのでファイン。
- (3) 当クラブは会員が少く欠席が多いためニコニコ箱が寂しいので、次回より投入の幅を拡げたい。又会員の方々の自発的投入を大いに期待します。

◆ スピーチの前に

新会長

函館市は郡部との接触がよそよそしいと思う。そのため市の発展が障碍されている。これは昔函館が繁栄していた時に、北千島等離れた所に関係があつた

し、計画的で良く働く様に思いました。例えて言うと、彼等は先ず働いてお金をため、必要且つ充分な大きさの家を建て(外側だけ)、再び働いてお金をため内部を仕上げ、更に働いてためたお金で一つ一つ家具を揃える、と言つたやり方です。ドイツの復興は決して無理をせず、この様に一步一步着実になされたものであると感じました。又彼等が日本人を信頼している態度もうれしく、大衆酒場に行つた時、私達の為に日本の歌をバンド演奏してくれたのもうれしたことでした。イギリスは11月中旬に先ずロンドンを訪れました。霧の都は昼でもあかりが必要でした。こゝで感心したのは、タクシーが絶対に信頼出来ることで、良心的に必ず最短距離を走つてくれます。次に訪れたハルは、日本人が始めてと言うことで、着くとすぐパーティに案内されました。その席で質問を受けました。「日本人は男は誰でもゲイシャ・ガールと遊ぶのか。」私は「それはビジネスである。」と答え、よく説明しましたが、私の答は彼等を失望させた様でした。日本の観光ポスターは、フジヤマとゲイシャ・ガールに代表されていて、誤解を受ける恐れがあり、その意味では今回のオリンピックは有意義であつたと思ひました。シカゴの黒人問題ですが、その後州では黒人用のアパートを建ててやつて黒人を収容し、子供達を強制的に学校にやつています。又シカゴは医学が発達しているそりで、これは黒人を無料診断する代りに人体実験?が出来るからだとききました、専門外のことでよくわかりません。尚現地日本人の子弟の教育問題ですが、逆に日本語を教えるのに苦労しており、又親から離して教育する風習があるので意外に費用がかゝる等悩みが多い様に思ひました。

◆ 遠藤副会長の謝辞

只今は井村さんのスピーチ誠に有難うございました。本日は会員の出席が少く申し訳なく存じます。お話の中で、アメリカ人が視線が会うと目礼することは誠に好ましいことで、工藤氏の'車中偶感、(ロータリーの友8月号参照)を思い出します。又ドイツ人は日本人と同じく勤勉であり、フランス人も旅行者に好感を持たれるらしく、イギリス人は印象が良くない様です。尚シカゴで医学が発達していることは、恐らく病理解剖(死因を確かめるために解剖し、生前の診断名を検討する)が盛んに行われるからであろうと思ひます。

◆ 出席報告(前回分)

会員数29名 当日出席20名
他ク出席5名 計25名(86.21%)
参考..... 函館ク 93.40% 函館東ク 98.48%

次回例会日 2月3日



通算第35号

1964~65-2-3

函館北ロータリークラブ

第33回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

からとも思う。我が北クラブはテレトリーは郡部に近く、フロンティアである。その意味で今日は矢野渡島支庁長さんより郡部に重点をおいたお話をお伺いすることは大いに意義があります。

※ スピーチ “新年度予算と渡島開発計画について” 渡島支庁長 矢野康氏
先般東クラブでもお話したことがあるので、重複をさけて函館に関係の深いこと及び道南の開発予算について申し上げる。道南の中心は函館であるが、これからの開発は函館だけを考へては駄目で、広く一地域を考へなければならぬ。大いなる函館の発展を望むならば、函館はリーダーとして近隣5ヶ町村をも併せ考へねばいけぬ。40年度の開発予算は昨年暮に決定したが、昨年度より伸び率は良かった。私は道南は斜陽とは考へていない。投資効率が良い地帯だと思ふ。

(1) 先ず特に重要な道路についてお話する。(地図を示しながら) 1級国道5号線は、昨年14億5千万円の予算であつたが、40年度は2億円近く増額となり、石倉、落部間を除き殆ど舗装が完成する。松前に行く228号線は、昨年4億5千万円で本年は1億円増となり、海岸線が更に良くなる。大野新道を通り渡島と檜山を結ぶ227号線は、昨年は1億2千万円であり、今年はまだ少し予算がほしいと思つたが、1億5千万円に止まつた。それにしても227号と228号線は一応の整理がつくと思ふ。根法華方面に行く下海岸線は、昨年は1億円で今年3億5千万円となり、問題の銭亀沢、戸井の道路の改良が大分進むであろう。

以上の他に観光面から函館、大沼、恵山を結ぶ連絡道路がほしく、道だけでも一本つくりたい。鉄山から尻岸内にぬける蛾眉野線で、この間5kmが未完成である。これは観光、開発、産業(海産物運搬)の面で大いに重要である。昨年と今年と2千万円宛予算を貰つたが、現在更に関係方面に要請中で、こゝ3~4年で何とか完成させたい。又川汲線は約1億の予算であるので、本年中に大体目処がつく。尙古部のトンネルが出来たので、来年度あたり周遊線が出来ることと思ふ。

(2) 次に函館市の重点事業として函館空港の問題がある。開港当時は心配されたが、最近の年間利用度は10万人となり(釧路は2万人)、国内航空全日空の1/3となり、今や函館の玄関は港でなく空港となつた観がある。当然拡張、

本日のプログラム

映 画

- ※ 司 会 新 会 長
- ※ 斉 唱 “君が代” “手に手つないで”
- ※ ビジター 和賀弘君(森R.C.)
木島茂君他7名(函館R.C.)
桑原正夫君他7名(函館東R.C.)

※ 会 長 報 告

1. 本日は節分厄払いの日でありますので、皆様の御健康を祈り乾杯します。
2. “ガバナー月信” より特に大事なお知らせをさせていただきます。
 - (1) R.I. 会長ベツテンギル夫妻の歓迎会に出席して
 - (2) ロータリー創立60周年記念日を迎えるに当つて

明けてお目出とうございます。

去年は金融引締で重苦しい空気でしたが、新年になり金融緩和で多少前途に明るい感じがします。60年前、ポール・ハリスがシカゴでR.C.を創立した時は腐敗と諦観といつた環境の中から生まれ、そえが今日の盛大を齊したことは、その目標である“Service Above Self”, “He Profits Most Who Service Best”, が高く評価され、実践されたことを実証します。戦後、日本のロータリーは急速に発展しました。日本の経済界が沈滞している今日こそ、会員は各自の職業を通じてロータリーの奉仕を實踐することによりその事業が繁栄し、よりよき社会をつくるのが大切です。来る2月23日の記念日を迎えるに当り、各クラブではそれぞれ記念すべき行事を計画されて、会員はロータリーの奉仕を身につけ、また会員以外の人達にもそれを充分認識して戴きたいと思ひます。

この件につき去る2月1日五島軒で函館市三R.C.の会長、幹事、プログラム委員長の会合を行いました。その結果、創立記念日には三クラブ合同で例会を行い、当日はR.I.の現況についての映画と、伊部バスト